

住友化学 i-農力だより

<http://www.i-nouryoku.com/index.html>

第54号 6月30日
発行 住友化学(株) アグロ事業部
お客様相談室 0570-058-669
発行責任者 古津 昇

目次

農家さん訪問記 (39)	p.1
住友化学アグログループ紹介 住友化学園芸(株)	p.5
野菜の病害虫防除・お役立ち情報	p.6
今月の肥料紹介	p.7
今月のお奨め農薬	p.8
農薬あれこれ?なぜなに?コーナー	p.9
今月のご相談から	p.10
農薬登録情報	p.11
病害虫発生情報	p.11
最近の「お・・美味しい!」	p.12
コラム・そば談義	p.13
編集後記	p.13



チャ(茶)(ツバキ科)とコホアカ(ホウチロ科)
富樫 信樹 画

農家さん訪問記(39)

さつまいも栽培の新技术を試して広める東さん!

今回の農家さん訪問では、鹿児島県日置市吹上町(ひおきし ふきあげちょう)からお届けします。地域農業の活性化を目指して、常に先進的な技術の導入を試みるさつまいも農家、東 芳男(ひがし よしお)さん(59歳)にお話を伺いました。(取材日:5月21日)



東 芳男さん

はじめに

今回訪問した吹上町は、鹿児島県の薩摩半島の中西部に位置します。日置郡の伊集院町、東市来町、日吉町、吹上町の4町が2005年に合併して、日置市となりました。

「吹上」の名前がつく名所に、吹上浜と吹上温泉があります。吹上浜は、東シナ海に面する非常に長い砂丘で、いちき串木野市、日置市、南さつま市の3市にまたがっています。日本三大砂丘として名高く、砂丘の長さとしては日本一とのこと。吹上温泉は、温泉街の規模は大きくありませんが、古くから知られた名湯で、西郷隆盛が訪れたことでも知られています。

さて、この地域の特産品として忘れてはいけませんが、芋焼酎です。吹上にも、全国的に有名な焼酎メーカーがあります。今回ご紹介する東さんは、その焼酎用のさつまいもを大規模に栽培している農家さんです。

外国航路の船員から農家へ転身！

東さんの家族構成は、奥さん、息子さん、娘さんの4大家族です。息子さんは大学を卒業後すぐに就農して一緒に働いているので、後継者の心配はありません。既に8年のキャリアとのことで、頼もしい限りです。東さんご自身は、農業を始めて約20年です。最初の仕事はなんと、外国航路の船員さんでした。その後、魚屋を始めましたが、将来的に厳しくなると考えました。当時、お父さんが左官との兼業農家だったこともあり、農業の道に進むことを決めたとのことです。

東さんの農業経営の柱はさつまいも栽培で、現在の栽培面積は11ヘクタール弱です。さつまいもはほぼ全てが契約栽培で、芋焼酎用です。地元の酒造会社2社と契約をしています。

現在の栽培品種は「コガネセンガン(黄金千貫)」ですが、1社がデンプンが多い新品種「ダイチノユメ」を使いたいと言ってきたので、少し試してみる予定です。

さつまいも以外の栽培作物は水稲で、現在約4ヘクタールを栽培しています。また、さつまいもの裏作として、今年の秋から小麦を栽培する計画です。小麦栽培については、採算の問題から、ここ数年中止していましたが、栽培経費を差し引いても若干の利益は得られることもあり、土壌改良の目的で、今年の秋から本格的に再開することにしました。

農業を魅力のある産業に！



苗を植えたばかりのさつまいも畑

東さんは、「農業を産業として振興していくにはまず、経済的に魅力のあるものでなくてはならない」と考えています。そのためには、高値で売れる優れた品質の作物を、経費を出来るだけ抑えながら栽培する必要があります。

そこで、さつまいも栽培の経済性について、教えていただきました。さつまいものキロ単価は、53～55円です。収量の目標は10アール当たり4トンで、最低3.5トンは収穫できないと経済的に合いません。4トン以上収穫できたら、その分は「臨時ボーナス」とのことです。

最近、化学肥料の価格が2倍になったため、以前より厳しくなったとのこと。しかし、それで負けている東さんではありません。様々な工夫や新技術の導入で、作物の品質と経済性を両立させています。

東さんの素晴らしいところは、新しく試してみてうまくいくことが確認できた技術については、仲間の農家にどんどん伝えて広げていくことです。インタビューをしていて、常に地域をリードされている様子が伝わってきました。

地力の維持に様々な工夫

ここで、さつまいも栽培の概要について教えてもらいました。

今年の植え付けは3月末から6月上旬頃まで行い、収穫は8月下旬から始め、12月上旬に終わる計画です。契約している酒造会社からの要望に合わせて収穫します。

うね立てとマルチがけは機械で行いますが、苗の植え付けは手作業なので、植え付け時には

4～5人のパートを雇います。7人いれば、午前中だけで50アールの植え付けが終わるということですので、相当な作業効率です。収穫作業は機械で行うため、それほど人手は要らず、パートは3人ほどです。ただ、2社からの注文が重なると、1日の収穫量が10トンにもなって作業が大変なので、収穫用の機械を1台増やして2台にする計画です。

収穫後は、地力の回復に努めます。まず、収穫後すぐに、表層土と下層土を入れ替える「天地返し」を行います。40センチほど掘り返します。

続いて、冬期に牛糞のたい肥を入れ、地力を回復させます。地力を回復させることで、植え付け時に使用する高価な化学肥料の量を減らすことが出来ます。

小麦栽培は、センチウの密度を下げることで、地力の向上に役立ちます。冬場の土地の乾燥を防ぎ、土の飛散を止める効果も期待できます。さつまいもを植えない時期だけで栽培できるので、さつまいもの栽培を休む必要はありません。毎年、さつまいも畑の1/3程度で栽培し、3年で一巡させる予定です。

施肥・薬剤処理・うね立て・ マルチがけが一気に完了！

今回の訪問では、うね立ての実演作業を見せていただくことができました。（今回の訪問にあわせて準備され、また、あいにくの雨天で作業に向かない中、実演してくださいました。本当に有り難うございました！）

今回見せていただいた装置には、トラクターの前面に施肥器、後部に農薬の散粒器と、うね立て及びマルチ作業を行う機械が付いており、施肥、うね立て、農薬の処理、マルチがけが一度に出来てしまいます。本当にあっという間にうねができ、マルチが張られていきます。

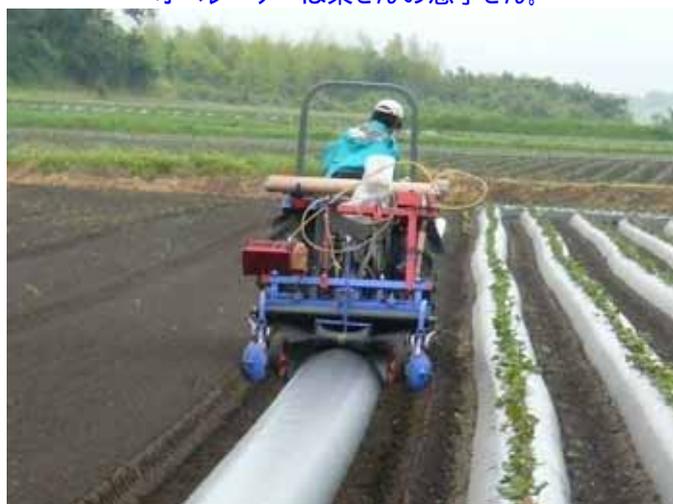
また、今回、農薬を水で希釈するタイプから粒剤（弊社のダントツ粒剤をご使用いただいています）に切り替えることで、大幅な省力化が実現しました。薬剤の希釈、水の運搬、タンク洗浄などの手間が一切不要になったことが大きいとのことでした。

また、うね立て時に肥料を同時施用することで、使用量を減らすことができました。以前は10アール当たり4俵（80キロ）入れていたのを、現在では3俵（60キロ）でよいとのことでした。

この方法で、大きく経費が節減できます。この方法は仲間の農家にも勧め、現在ではかなり普及しているとのことでした。



うね立て作業を前から見たところ。
肥料が散布されている様子が見える。
オペレーターは東さんの息子さん。



うね立て作業を後ろから見たところ。
うねにきれいにマルチがけされている。
上部に見える白いものが農薬の散粒器。

勝負の半分は苗づくりで決まる！



東さんご夫妻。苗の栽培温室にて。

さつまいもでは、伸ばした茎を取り、これを畑に挿して植え付けます。この苗を育てている温室を見せてもらいました。ちょうど、東さんの奥さんが、これから植え付ける苗を準備されていました。

東さんによると、さつまいもづくりの「勝負の半分は苗で決まる」とのこと、良い苗づくりに力を注いでいます。

苗を取るための種いもは、バイオテクノロジーを活用して培養されたポット苗から育てます。これは、地元の種苗会社が、さつまいもの細胞から培養して増やした「ウィルスフリー」のごく小さな苗で、施設内に植えて育て、

来年の種いもとします。形が良くて根のくぼみも少ない、非常に質の良い種いもが取れます。この種いもから、畑に定植する苗を取るのです。畑に植える苗は当然、ご自分で育てたものが100%です。

これからの農業はコミュニケーションが大事！

最後に、今後の目標を伺ったところ、まずは栽培面積の拡張とのことでした。さつまいもの面積は15ヘクタール、米は7～8ヘクタールにしたいと考えています。

これからの農業はコミュニケーションが大事というのが東さんの持論です。

安全で品質の良い作物を育てるためには、農薬や肥料、農業資材などを提供する会社、農機具メーカー、種苗会社などと、十分にコミュニケーションをとる必要があります。また、栽培した作物の良さを分かってもらうために消費者とのコミュニケーションも欠かせません。

また、会社などから農業未経験者の研修も受け入れ、農業を体験してもらっています。農業を知らない人に、農業について少しでも理解してもらうことが重要と考えています。



植え付けを待つばかりの苗。
実演で作ったうねに植え付ける。

あとがき

東さんは日置市の農業委員を務められており、お会いした際に、その名刺を頂きました。普通の倍はありそうな特大の名刺で、そこに、以下のような言葉が記載されていました。

吹上の耕地の荒廃を止めます
農業は必ずや地方経済の要と成ります
先人の苦闘の魂を次代に継承します

この言葉そのままに、常に地域の農業振興を考え、そのために常に先を考えて行動する、東さんの熱い思いと行動力を実感したインタビューでした。 (南)

[目次へ戻る](#)

住化アグログループ紹介

住友化学園芸株式会社



住友化学園芸

殺虫殺菌剤

自然派志向のお客様にうれしいニュース!

病害虫を物理的防除で退治!
食品成分の殺虫殺菌スプレー

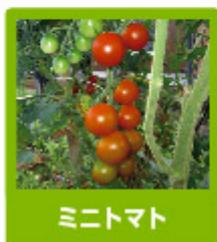
自然派志向

収穫前日まで
何度でも
使える!

ベニガマイルドスプレー

★ 農林水産省登録第22160号 還元澱粉糖化物液剤
(有効成分)還元澱粉糖化物...0.60%
(性状)無白色水溶性液体

病害虫を見つけたら
葉裏にもしっかり連続散布!



などに



900ml・420ml 入

化学殺虫成分不使用

葉もの野菜やキッチンガーデンにもおすすめ!

- 食品成分を使用した野菜や花に安心して使える自然派志向の殺虫殺菌剤です。
- 有効成分がアブラムシ、ハダニ、うどんこ病菌を包み込んで退治し、薬剤抵抗性がつきやすい害虫にも効果的です。
- 臭いがなく、野菜類には収穫前日まで使えます。

【適用病害虫と使用方法】

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	総使用回数	使用方法
しそ	アブラムシ類 カンザワハダニ うどんこ病	原液	収穫前日 まで	-	散布
野菜類 (しそを除く)	アブラムシ類 うどんこ病				
花き類・観葉植物					

野菜の病害虫防除・お役立ち情報

ネギの病害虫の適正防除で秀品率を高めよう!

前回の総合防除技術を踏まえ、ネギ定植後の病害菌類の増殖、感染と病害類の体系（同時）防除について述べ、参考に供する。

1. ネギ生育期の感染・発病条件と体系（同時）防除について

病害菌類の増殖・侵入感染・発病は、ネギの生育期の温湿度条件と密接に関連する。ネギの地下部を侵す小菌核腐敗病・黒腐菌核病は初秋～早春季の低温・多雨（湿）。萎凋病は夏季の高温・乾燥。白絹病、軟腐病は晩春～夏季の高温・多湿。地上部を侵すさび病は春と秋季の低温・多雨。べと病は春と秋季の高温・多雨。疫病、黒斑病は春～秋季の高温・多湿（雨）。萎縮病（アブラムシ類）は春と秋季の高温・乾燥等の条件によって病気が発生してくることから、定植後からの体系（同時）防除が重要となる。栽培作型によって病害類の発生相は異なるが、秋冬どり栽培を対象とした病害類の体系（同時）防除例を示すと次のとおり。

（表中、赤文字の薬剤は弊社薬剤を示す）

防除時期	対象病害類	防除薬剤
定植時	小菌核腐敗病、萎縮病、萎凋病	小菌核腐敗病、萎凋病： ベンレ - ト水和剤 、 トップジンM水和剤 （定植直前根部浸漬処理）、 白絹病 ： リゾレックス粉剤 、 フロンサイド粉剤 、 モンカット粒剤 。
生育初期 ～中期	萎縮病、軟腐病、さび病 黒斑病、疫病、べと病	萎縮病（アブラムシ類防除） ： アグロスリン乳剤 、 ジメトエ - ト乳剤 。
生育初期 ～中期 土寄せ前	白絹病	軟腐病 ： スタ - ナ水和剤 、 オリゼメ - ト粒剤 、 ヨネボン水和剤 。
生育中期 ～後期	軟腐病、さび病、べと病 疫病、萎縮病、黒斑病	さび病 ： マンゼブ水和剤 、 カリグリ - ン 、 オンリ - ワンフロアブル 。
生育中期 ～後期 土寄せ前	白絹病、小菌核腐敗病	黒斑病 ： ダコニ - ル 1000 、 ポリベリン水和剤 、 ポリオキシシン A L 水和剤 。 疫病 ： アリエッティ水和剤 。 べと病 ： ダコニ - ル 1000 、 アリエッティ水和剤 、 リドミル M Z 水和剤 、 ランマンフロアブル 。 小菌核腐敗病 ： ダコニ - ル 1000 、 フロンサイド粉剤 、 スミレックス水和剤 、 フルピカフロアブル 。（印は、根深ネギで登録）

2. 留意事項

- 1) 薬剤散布に当たっては、安全使用基準を必ず守る。
- 2) 病害の被害苗は選別し、健全苗を厳選して植付ける。本圃の被害株は早めに抜きとり、其々圃場外で処分する。
- 3) 薬剤調製に当たっては、必ず展着剤を加用する。
- 4) さび病、べと病、疫病は、発生初期から7～10日間隔の連続散布が効果的。
- 5) 病害類の好適発生条件下では、予防散布に努め、7～10日間隔の連続散布が効果的である。また、多発生が予想される場合は、散布間隔を短縮して防除を行う。
- 6) 土寄せは、軟白所要日数（6～9月は15～20日、10月は約30日、11月以降は30～40日）を目安に数回行うが、最終土寄せ日から軟白所要日数を経過した収穫適期は、秋季は7～10日、冬季は約20日で、薬剤処理の目安としたい。

（技術顧問：村上）

[目次へ戻る](#)

今月の肥料紹介



コシヒカリ栽培農家へ朗報！ 良食味・安定多収に！

良食味品種専用穂肥 「スミショート®」

1. スミショートってどんな肥料ですか？

スミショートは、コシヒカリに代表される倒伏しやすい良食味品種を対象とした、倒伏軽減剤「ウニコナゾールP」入り穂肥です。通常、コシヒカリの穂肥は倒伏を避けるため、下位節間の伸長が終わった出穂18日前頃に施用します。一方、スミショートは「ウニコナゾールP」の効果で下位節間を短くするため、本来の穂肥の適期である幼穂形成期（出穂25日前）に施用します。適期に穂肥を施用するため、1穂初数の増加と登熟歩合の向上、それによる増収が期待できます。また、玄米の粒厚も厚くなり、タンパク含有量が低下し、食味のよいお米になることも期待できます。このように、**スミショートは良食味品種の品質向上と増収を期待する米農家の方にお奨めしたい穂肥**です。スミショートには、「ウニコナゾールP」含量及び施用室素量の異なる4種の銘柄があります。

今年の米作りには、是非ともスミショートをお使いになり、その効果をお試しください。

2. スミショートの使用方法は？

幼穂形成期（出穂約25日前）の生育状況と穂肥診断により、施肥室素量を考慮し、最も適した銘柄を選択します。スミショートを使用するポイントを簡単に説明すると、次の通りです。

スミショートは従来穂肥よりも7～10日早く施すため、基肥は慣行栽培に比べやや減量します。

スミショートの施用時期は出穂25日前を基本とします。

幼穂1～2mm、第5節間2～4cm伸びている時期が出穂25日前の目安になります（イラスト図参照）。第2回目の穂肥は必要に応じ、当社の穂肥「銀泉特号」（N-P-K=14-6-16）をスミショート施用後7～10日頃に施してください。

幼穂形成期（出穂25日前）の様子



もっとも長い節間（第5節間）が2～4cmに伸びている。

【スミショートの銘柄紹介と施用方法】

銘柄	容量	成分		使用基準			第2回目穂肥
		肥料 (N-P-K)	ウニコナゾールP (%)	現物施肥量 (kg/10a)	室素施肥量 (kg/10a)	施用時期 (出穂前日数)	
スミショート14	10kg	14-2-17	0.012	7～10	1.0～1.4	25～10日前	生育状況気象条件に応じて
スミショート21	15kg	14-2-17	0.008	10～15	1.4～2.1	25～20日前	
スミショート28	20kg	14-2-17	0.005	15～20	2.1～2.8		
スミショート35	15kg	23-1-11	0.008	15	3.5		不要

湛水：3～5cmの水深を保ち、施用後3～4日間止水してください。散布：スミショートでムラ直しはしないで下さい。

室素施用量の範囲は、小数第2位四捨五入（ ）で示します。

詳しくは、住友肥料取扱店に御相談下さいますようお願い致します。

[目次へ戻る](#)

今月のお奨め農薬

樹木の病害虫防除（2）

今回は「樹木類」登録について解説しました。今回は樹木の害虫防除に焦点を当てます。

樹木の害虫は多種多様ですが、加害する方法で見ると、葉や枝をかじる、樹液を吸う、葉や樹木に入り込み内部を食べる等があります。

の代表が公園や並木のプラタナスの葉をボロボロにするアメリカシロヒトリ、桜や梅によく見られるイラガ、木犀（もくせい）に多いサザナミスズメ、山茶花（さざんか）を加害するチャドクガ等の鱗翅目（ガ、チョウの仲間）の幼虫です。変わったところではマツノマダラカミキリがあります。この害虫は松の樹皮をかじりますが、この時虫の体内に潜むマツノザイセンチュウを松に感染させます。このマツノザイセンチュウが松の木の中で増殖すると、いわゆる「松枯れ」が発生し、大きな松でも枯れてしまいます。

の代表がアブラムシ、カイガラムシ、カメムシ等の半翅目（セミの仲間）やハダニ類です。アブラムシやカイガラムシは盛んに樹液を吸い樹木を加害しますが、肛門から糖分を含む「甘露」を排泄し、この「甘露」に空気中のカビの胞子が付着し、黒い煤状となり「すす病」となります。カイガラムシは越冬成虫に加え、越冬幼虫や越冬卵が短期間に成虫となり、樹木の枝に産卵します。卵は短期間で孵化し、枝や幹、葉に分散して定着します。また、風に乗って他の樹木に移動し定着するものもあります。定着すると、身を守るため、背中をロウ状物質で覆います。

の代表がコウモリガです。コウモリガは卵で越冬し、孵化後は雑草を食べて成長します。大きくなるとプラタナスや銀杏（いちょう）に移り、枝幹部を環状に食べたあと木質部に食入します。樹木は樹液の流動が絶たれるため、樹勢が衰え、幼木では枯死します。

このような害虫防除にはスミチオン乳剤が便利です。**スミチオン乳剤は「樹木類」に適用があり**、アメリカシロヒトリ、アブラムシ類、ゲンバウムシ類等に効果が確認されています。また、これ以外に「いちょう（種子）」ではコウモリガ、「せんりょう」ではアザミウマ類とカメムシ類、「こでまり」ではカイガラムシ類、「しきみ」ではクスアナアキゾウムシ、「にしきぎ」ではケムシ類、「しゃりんばい」及び「だいおうしょう」ではシンクイムシ類、「さかき」ではハマキムシ類、「さんごじゅ」ではワタノメイガに効果が確認されています。

スミチオン乳剤は多くの樹種で安全性が確認されていますが、種類によっては薬害のおそれがありますので、初めて使用される際は、使用者の責任において部分的に使用するなどして、事前に薬害の有無を十分にご確認ください。特に、「ひのき」に対しては個体によって落葉、枯損するおそれがありますので、散布しないでください。また、**自動車や壁などの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色するおそれ**がありますので、注意してください。

ダイアジノン水和剤 34 も「樹木類」に適用があり、防除対象はアメリカシロヒトリです。また、アグロスリン乳剤では「しきみ」、「さかき」に適用があり、防除対象はアブラムシ類で、ダントツ水溶剤では「つつじ類」に適用があり防除対象はつつじグンバイです。

（山脇）

[目次へ戻る](#)



スミチオン乳剤



自宅の庭で、 「粉剤タイプの農薬」を 使うのって難しそう・・・

ご質問

自宅の庭に植わっているりんごの木に虫がついてしまったので、退治したいと思います。ホームセンターで農薬を探していて、りんごに使える「マラソン粉剤3」というのを見つけました。粉のタイプで、そのまま撒けばいいようですが、具体的にどのように使えばよいのでしょうか。りんごの木の高さは3メートルほどですが、脚立に乗っても、上から振りかけるのは難しそうです。

質問ポイント

庭で粉剤タイプの殺虫剤を使うには、どうしたらいいの？

お答え

農薬にはいろいろな形状の製品がありますが、今回お問い合わせの「粉剤」は微粉末の製品で、専用の散布機を使用して散布します。薬剤の粉が混じった空気をパイプから噴出させ、作物に吹き付けて散布します。

回答ポイント

粉剤タイプの農薬は、庭での使用は不向きです。水で薄めるタイプの農薬を購入し、家庭用の噴霧器で散布してください。

ただ、今回のご相談のように、「粉剤」をご家庭の庭で、木のように背の高い作物に使用することはお奨めできません。高い位置から散布すると、風に乗って飛散しやすくなるので、関係のない他の草木にかかったり、隣家に流れていったりして、思わぬトラブルの元になります。

「粉剤」は、主に農家を対象にした製品で、適切に使用するには技術が必要ですし、一袋の量も多くなっています。例えば、お問い合わせの「マラソン粉剤3」は、一袋で10アールも散布でき、家庭菜園では有効期限までに使い切るのが難しいと思われます。

農業用の製品が充実したホームセンターでは、農家向けの農薬もいろいろ販売されていますので、家庭園芸用に購入すると持て余すおそれがあります。家庭でも使いやすく工夫された製品もいろいろありますので、ご購入の前に、お店の人に相談ください。

なお、今回、庭でお使いの場合は、水に薄めて散布するタイプの農薬をお勧めします。このタイプの農薬には、「乳剤」、「フロアブル」、「液剤」、「水和剤」、「水溶剤」などがあります。また、家庭用の噴霧器も、様々なものが市販されています。お店に相談されて、用途にあったものをお選びください。

最後に、希釈して使用するタイプは、粉剤に比べれば飛散のリスクは低いのですが、飛散することに変わりありません。風の弱い日に、適正な圧力に調節した後、散布対象にノズルを十分近づけてから散布し、飛散を最小限に抑えるようご注意ください。ご自身を守るため、マスクや保護メガネ、手袋などの保護具の着用もお忘れなく！

農薬の種類で迷われたら、弊社お客様相談室：ナビダイヤル0570-058-669
にご相談ください。(受付時間：平日午前9時～午後5時) (佐伯・南)

[目次へ戻る](#)

今月のご相談から

「10アール当りの散布量」は全ての農薬で 決まっていらないのですか？

Q1. 例えばダントツ水溶剤の製品ラベルをみると、10アール当りの散布量が記載されていますが、スミチオン乳剤で記載されていないのはなぜですか？

A1. ダントツ水溶剤のように比較的最近の農薬では、発売当初から希釈倍数とともに散布量が記載されています。しかし、スミチオン乳剤のように以前から販売している農薬では、まだ散布量が記載されていないのが現実です。

Q2. 散布量が記載されていない農薬の場合は、どのように対応したら良いのですか？

A2. 散布量が記載されていない農薬の場合でも、殺虫剤及び殺菌剤で使用方法が「散布」の場合、原則として次のような散布量とご理解下さい。なおこの散布量は、今後徐々に登録内容に反映されることになると思われます。

【適用病害虫と使用方法】			*印は収穫物への残留回避のため ※の総使用回数に制限を示す。			
作物名	適用病害虫名	希釈倍数 (倍)	使用 液量	使用 時期*	総使用回数*	
稲	ウンカ類 ツマゲロコバイ カメムシ類 イネドコオウムシ	4,000	60~ 150 g/10a	7日	4回(★1)	
	ウンカ類 カメムシ類 イネドコオウムシ	1,000				25 g/10a
	ウンカ類 ツマゲロコバイ カメムシ類 イネドコオウムシ	2,000~ 4,000				
きゅうり	アブラムシ類 コナジラミ類	4,000	前日	3回		
メロン	ミナミキイロアザミウマ コナジラミ類	2,000~ 4,000			100~ 300 g/10a	4回(★2)
	トマトハモグリガ	2,000				
	なす	アブラムシ類 マメハモグリガ コナジラミ類	2,000~ 4,000	4回(★3)		
すいか	ミナミキイロアザミウマ ハモグリガ類	2,000 4,000	3日		4回(★4)	
	アブラムシ類	2,000				
	かぼちゃ	アブラムシ類		2,000~ 4,000		前日
トマト	アブラムシ類 コナジラミ類	2,000~ 4,000	7日	4回(★6)		
ミニトマト	ハモグリガ類	2,000				
ピーマン	ミナミキイロアザミウマ アブラムシ類 コナジラミ類	2,000~ 4,000			1,000 g/10a	
ばれいしほ	デントウムシダマシ類	4,000	7日			
	アブラムシ類 カメムシ類	1,000				

例) ダントツ水溶剤 ラベル(抜粋)

適用作物	10アール当り散布量(L)
稲・麦	60~150
野菜	100~300
花卉	〃
豆類	〃
いも類	〃
果樹	200~700
茶	200~400
たばこ	25~180

独)農林水産消費安全消費センター 農薬検査部 生物課が農薬工業会に
検査運用として説明した概要から引用

Q3. 上記以外の散布量はありますか？

A3. 上記散布量は、使用実態に基づき示されたものですので、作物に十分かかる散布量であることが確認できる場合には、これと異なる散布量を記載することができるようになっていきます。

例えば以下のケースです。

薬剤名	作物名	10アール当り散布量(L)
ベストガード水溶剤	たばこ	100~180
粘着くん水和剤	まめ科牧草	150~300
粘着くん液剤	野菜類	150~300
ピルク水和剤	なす、すいか	150~350

(小川)

[目次へ戻る](#)

農薬登録情報

適用拡大 5月13日～6月10日までの主な適用拡大内容です

種類	薬剤名	変更点	作物	病害虫名/ 使用目的	使用量ほか	
殺虫剤	アディオン乳剤	作物追加	はまなす (果実)	シンクイムシ類	2000倍	収穫7日前まで 2回以内 散布
	ゲットアウトWDG (北海道)	作物追加	からしな (種子)	ヨトウムシ	3000倍 100～300L /10a	収穫14日前まで 3回以内 散布
	パダンSG水溶剤	作物追加	チンゲン サイ	ハモグリバエ類 コナガ	1500倍	収穫7日前まで 3回以内 散布
	プレオフロアブル	作物追加	立ちしゅ	ナモグリバエ ハスモンヨトウ オオタバコガ	1000倍 100～300L /10a	収穫7日前まで 2回以内 散布
殺菌剤	スターナ水和剤	作物追加	うめ	かいよう病	1000倍	収穫7日前まで 3回以内 散布
			もも	せん孔細菌病	1000倍	収穫7日前まで 3回以内 散布
	ダコニール1000	作物追加	しきみ	炭疽病	1000倍	6回以内 散布
			トマト	灰色かび病 すすかび病	1000倍	収穫前日まで 4回以内 散布
						ミニトマト
ピーマン	炭疽病	1000倍	収穫前日まで 3回以内 散布			
植調剤	スミセブンP液剤	作物追加	シンフォリ カルボス (鉢栽培)	茎葉の伸長抑制 による小型化	12.5～25倍 5～15ml /5号鉢	鉢上時(摘心時)、 鉢上後約20日及 び鉢上後約40日 3回 茎葉散布

(佐伯・南)

病害虫発生情報

6月12日～6月15日

鳥取県

*6月15日 注意報 / ねぎ / ネギべと病

当社登録剤:ダコニール1000

詳細は: <http://www.jpnp.ne.jp/tottori/joho/johotop.html>**鹿児島県**

*5月19日(6月15日発表) 特殊報 / とうもろこし(飼料用) / フタテンチビヨコバイ

当社登録剤:該当なし

*6月12日 特殊報 / ソリダゴ / ソリダゴ根頭がんしゅ病(新称)

当社登録剤:該当なし

詳細は: <http://www.jpnp.ne.jp/kagoshima/yosatu/yosatutop/YOSATU.HTM>

ネギ べと病

(手塚)

[目次へ戻る](#)

最近の「お・・美味しい!!」

弊社相談室から佐伯がお送りします
最近の「お・・美味しい!!」
女性の目・主婦の目・はたまた酒呑み??の目(笑)で、
毎月「これぞ!!」というものを紹介します。
どうぞお楽しみに♪♪♪

蒸し野菜のスズメ

アスパラガスの美味しい季節になりました。スーパーマーケットにでかけるとこのような「旬の野菜」が一目でわかりますね。なぜなら、値段がぐっと下がるから(笑)。そんなわけで、アスパラガスなど美味しくてお手ごろな旬の野菜が、最近頻りに我が家の食卓に登場します。旬の野菜は、あんまり手をかけずに、シンプルにいただくのが一番美味しいものです。今までは、普通にお湯で茹でて食べることが多かったのですが、最近「蒸し野菜」に凝っています。「蒸す」という調理法は一見、難しそうに思いますが、実はこれ。案外カンタンなのです。 **以下参照**

鍋に2センチほど水を張る。
その上に100円ショップ等で売っているステンレスの台を置く。
この状態で鍋に蓋をして、火にかける。
しばらくすると、水が沸騰して、鍋の中が湯気で充満してくるので、その状態になったら、準備しておいた野菜をステンレス台に載せる(火の通りにくいものから順に)。
しばらく火をかけ、様子を見て野菜に火が通ったら引き上げる。(終わり)

先日、アスパラガスはアスパラガスでも、「紫色」のものを見つけたので、これは珍しい!と思って買ってきました。「切ると中はどんな色をしているのかな?」とか、「茹でても色はこのままなのかな?」とか、扱ったことのない未知の食材に興味は尽きません。例によって、「蒸して」食べようと思った私は、まずアスパラガスを切りました。そしたらね。紫なのは外側だけで、中まで紫というわけではありませんでした(なーんだ。中は普通のアスパラと同じなのね。ふむふむ)。そして、湯気が充満した鍋のステンレス台に載せて、待つことしばし・・・。「もういいかな?」と思って



紫アスパラガスの断面。
下の黄色いのはまな板です。



紫アスパラが緑に変化!!

蓋を開けるとあら不思議 紫色だった外皮は緑色に変化していました。(へえ~おもしろいな。)'味はどうか?'とちょっとだけつまみぐい(笑)・・・。「おお!!甘くて美味しい~!」おもわずニンマリ。グリーンアスパラガスと変わらぬ味だけど、蒸したてはホクホクで「いかにも旬の野菜」といった甘さでした。

この日は、他にも一緒に蒸した野菜たちと綺麗にお皿に盛って食卓へ。そのままでも美味しいの



ね?美味しそうでしょ?

ですが、今回は北海道物産店で買ってきた「ホタテとオニオンのマヨネーズソース」を添えていただきました。野菜の甘さとソースのコクが合わさって、見た目にも美味しい一品のできあがりです。蒸し野菜の良いところは、茹でるのに比べて、調理が簡単、しかも種類の違う野菜も一度に蒸せる、栄養価が逃げない(気がする)、そしてなんとって美味しい ということでしょうか。また、蒸し野菜は味がシンプルなので飽きないし、気分によって違うソースを添えることで楽しみは無限大に広がります。

梅雨時期はなんだか「だるおもーい」感じになりますよね。そんな時には、このような美味しく栄養のある旬の野菜がぴったり!たくさん食べて、元気を出しましょう!(佐伯)

[目次へ戻る](#)

コラム・そば談義 54

朝の通勤で俳優・別所哲也さんがパーソナリティの FM ラジオを聞いている。

その番組でロハスという言葉がよくでてくる。調べてみると LOHAS とは Lifestyles of Health and Sustainability の頭文字をとったもので、日本語は“健康と持続可能性の(もしくはこれを重視する)ライフスタイル”と訳し、健康や環境問題に関心の高い人々のライフスタイルを営利活動に結びつけるために生み出されたビジネス用語だそう。

ロハスビジネスの特徴は、健康や癒し・環境やエコに関連した商品やサービスなどである。具体的には環境にこだわった商品とか、購入額の一部が植樹のために寄付されるような商品も含まれる。因みに環境に関心をもつ人々をロハスピープルと呼ぶそうだが、日本の成人 29% がそれに当たるそう。今、人気が高いハイブリッドカーもロハス商品のひとつである。

今、U-29(29歳以下)の若い人たちは、それを気楽に選ぶそう。年配の人はあれこれ理屈をつけてなかなか行動に移そうとしないのだが、若い人は社会貢献という気負いがなく、やれることを自然体でやる。コミュニティーにかかわる感覚で自分の世界を広げ、新たな出会いを求める。それが楽しみの源泉だそう。出来る範囲で気楽に実行し、エコ商品を買ってそれが寄付に結びつくならそれをやろうと実に肩肘張らずに合理的な考えだ。

さて、ロハスの源泉は米国コロラド州ボルダーで自然食やヨガ、禅などの東洋思想を強く受けたヒッピーやニューエイジ(1960年代後半から70年代)と呼ばれた人たちが自国の大量生産、大量消費の産業文明に限界を感じ自然と共存していく道を選んだのが始まりだそう。そこには日本の伝統・文化も融合していて、特に「もったいない」精神は国際語となっている。例えば、無駄なものは買わない、体にいいものを吟味して買う、買い換えるときはリサイクルを利用するなどである。江戸時代の頃、江戸の街はリサイクル文化が今より発達していて、大名や大店のし尿と下級武士や町民が出すものとはかなり値段差があったことは有名である。それらのし尿を堆肥にして、野菜を育てて江戸市民に販売していた本当の循環型農業である。18世紀初め頃、江戸の人口(100万人)は世界の主要都市の中でも過密都市だったよう。しかし、先のようなリサイクル文化が発達していたこともあり世界一衛生的な都市だったよう。よって、昔から日本はロハス文化だったということになる。

そんな江戸時代に定着した「江戸そば」は良いことづくめである。そばを思いっきり食べてもあまり太らないし、食べると中性脂肪が下がり、その上動脈硬化の予防にもなるというのである。これからそばをたくさん食べて、からだの外も内もロハス気分になってほしいものだ。

最後に、私ごとですが1キロのそば打ちがやっと自分のものになってきたような気がします。そば道具を車に積み、色々なところにお邪魔してそこでそばを打ち、それを食べて頂いたお陰です。この紙面を借りてお礼申し上げます。(古津)

編集後記

今月から本誌は月末発行に変更になりました。そこで、気分も新たにして i - 農力会員様に喜ばれる紙面づくりに励んで参ります。

さて、最近ではエコ・エコとテレビや新聞などから飛び込んできます。そんな中で、そば談義にもエコに関することを記しました。その昔、住友グループは、別子銅山の銅鉱石の精錬で発生する亜硫酸ガスの煙害が問題となった際、このガスを利用して肥料(過燐酸石灰)を製造することで、問題を解決しました(その肥料製造会社が住友化学の前身です)。今で言う発展的持続可能(Sustainable)な技術ということになります。



イラスト：加藤さん

[目次へ戻る](#)